

《第55回》 西原7町内子ども会（3）「子ども花火まつり2022」 育成会会長 加藤 洋子

令和4年8月26日(金)PM6時より、新南部5丁目公園にて「子ども花火まつり2022」を開催し約20組の親子が参加しました。

進行内容は次の通りです。

1.開会（司会6年生）

※感染対策の為全員椅子に着席

2.夏休みの思い出発表（全員発表）

3.夜市で遊ぶ

ヨーヨー釣り

水鉄砲でおもちゃ&お菓子をゲット

※紙にぶら下げたお菓子を水鉄砲で落とす

4.吹き出し花火（約20種類）

5.閉会（町内会の方へ警備等のお礼）

6.手持ち花火（自由参加）

●公園の飾り（上級生が準備）

☆色紙輪っか飾り（家に余っている

折り紙や、広告チラシ、新聞紙を使用）

☆空き缶灯り（空き缶を竹灯り風に）

以上です。



上級生が準備を
頑張りました。



昨年に引き続き2度目の花火イベントでした。キレイな花火を親子で一緒に眺め夏の思い出をつかって貰いたいと、今年は手持ち花火より吹き出し花火をメインに準備をしました。

夜市の内容や公園の飾り付けは、主に上級生が密にならない工夫を考えたりしながら計画から準備まで頑張ってくれました。特に砂場を掘ってブルーシートをかけただけの大きなプールは、広くてヨーヨー釣りには最適でした。

保護者さんからは、「家族で参加出来たことで良い夏の思い出になりました♪」と嬉しい感想を寄せて頂きました。

ご協力頂いた町内会の役員の皆様には、事前の公園の草刈りや警備、花火の点火など多くのご協力を頂き心から感謝致します。







《事務局から》

事務局長 白石和典

- ① 活動報告有り難うございました。町内会の皆様が事前に草刈りをしてくださった綺麗な公園で、夏の楽しい思い出作りが出来ましたね。草刈りの他にも警備や、点火など協力されているようで、地域と一体になった行事が出来ると言うことは本当に素晴らしいことです。保護者や子ども達は「地域の一員として周りから見守られていると感じ」、地域の人は「次代を担う子ども達とふれ合い、育てていく」という思いでおられるのではないかと思います。これからも益々、この様な目に見えないようでも実は大切な「絆」を大事にして欲しいと思います。
- ② 密にならないように全員椅子の「指定席」に座っての開会式とはよく考えられたものです。最近、コロナ感染も収束傾向ではありますが、油断は出来ません。このように、考えられる、取り得る対策はしばらくは必要でしょう。
- ③ 飾り付けや、ヨーヨー用の砂場のプール作りなど準備を上級生が行い、全員が思いを発表を行うなど、この活動に子ども達が主体的に関わっている事が大変いいです。夜市で遊び、花火で楽しみ、更に他にこの様な活動をした体験は、子ども達にとって大変意義深いと思います。
- ④ 活動報告に沢山の素晴らしい写真をお寄せ頂き有り難うございました。しかも、その大部分は、内容毎にキレイに編集してあり様子がよく分かりました。
- ⑤ 活動の計画、そして草刈りから始まる事前の準備・会場設営、会の運営と何か行事をすることは、直接関わられる会長様はじめ役員の皆様は大変なご苦労だろと思います。本当にお疲れ様でした。子ども達の健やかな成長をお祈りいたします。